



円昭「e街プロジェクト」  
空間デザインコンペ 2015 vol.4

【団地間取りを考える】

バンタンデザイン研究所  
インテリア  
プライベートコース  
崔本 剛

# CONCEPT

「愛犬との理想の暮らしを実現できる住まい。」  
“the DOGGY & Apartment.”



ブランドロゴイメージ

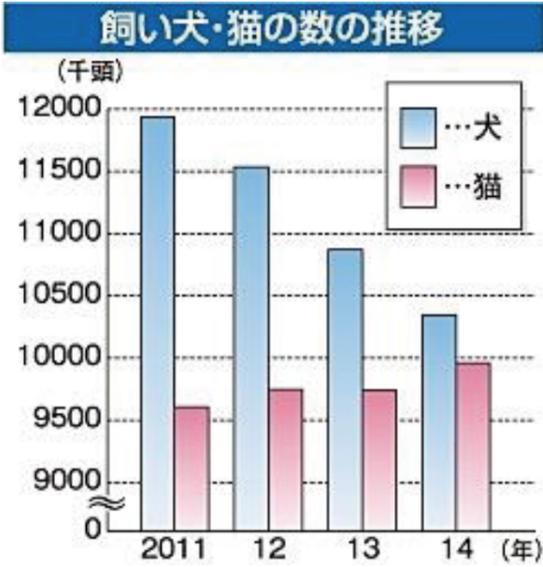
# OUTLINE

- ・「犬と暮らす人」専用の集合住宅。入居条件は現在犬を飼っている、またはこれから飼う事。
- ・サロン、病院、しつけ教室など、犬を飼う上で必要になる店舗・施設が同建物内に並ぶ。
- ・「ペット可」ではなく、敢えて「犬のみ」に特化する事でブランドイメージの確立を図る。

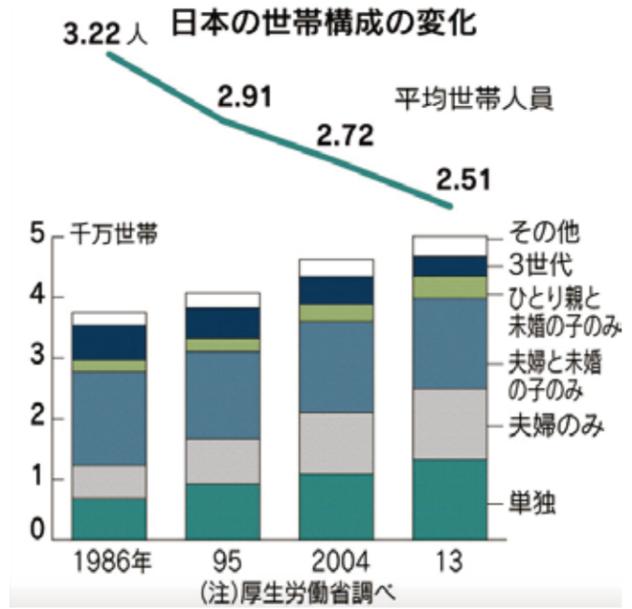
# TARGET

- ・犬を飼いたいが、一人暮らし、または共働きで世話やしつけをする余裕がない。
- ・希望する予算・エリアに「ペット飼育可能」の物件が少ない。
- ・周囲の目を気にする事なく愛犬との暮らしを満喫したい。  
→上記いずれかに該当する 20代~40代の単身、またはカップル・夫婦。

# POINT(1) 犬の飼育数は減少傾向にある。



# POINT(2) 原因は世帯人員数の減少。



# POINT(3) 飼いたくても飼えない人が増えている。

## 犬の飼育阻害要因

- 第1位：十分に世話ができないから。
- 第2位：集合住宅で禁止されているから。
- 第3位：お金がかかるから。

## あつたらいいなと思うサービス

- 第1位：旅行中や外出中のお世話代行。

# POINT(4) 犬の人気の落ちてしまった訳ではない。

## 飼いたいペットランキング

- 第1位：犬 第2位：猫

※引用：一般社団法人ペットフード協会



# BUILDING PLAN

2～6階を住居、1階は全てテナントとし、  
犬にまつわるサービスを提供する店舗、施設のみを誘致する。

入居者はどこよりも充実した環境で飼い犬を育てることができ、  
事業者は出店時から顧客を30組（満室時）確保している状態で  
ビジネスを始めることができる。



トリミングサロン

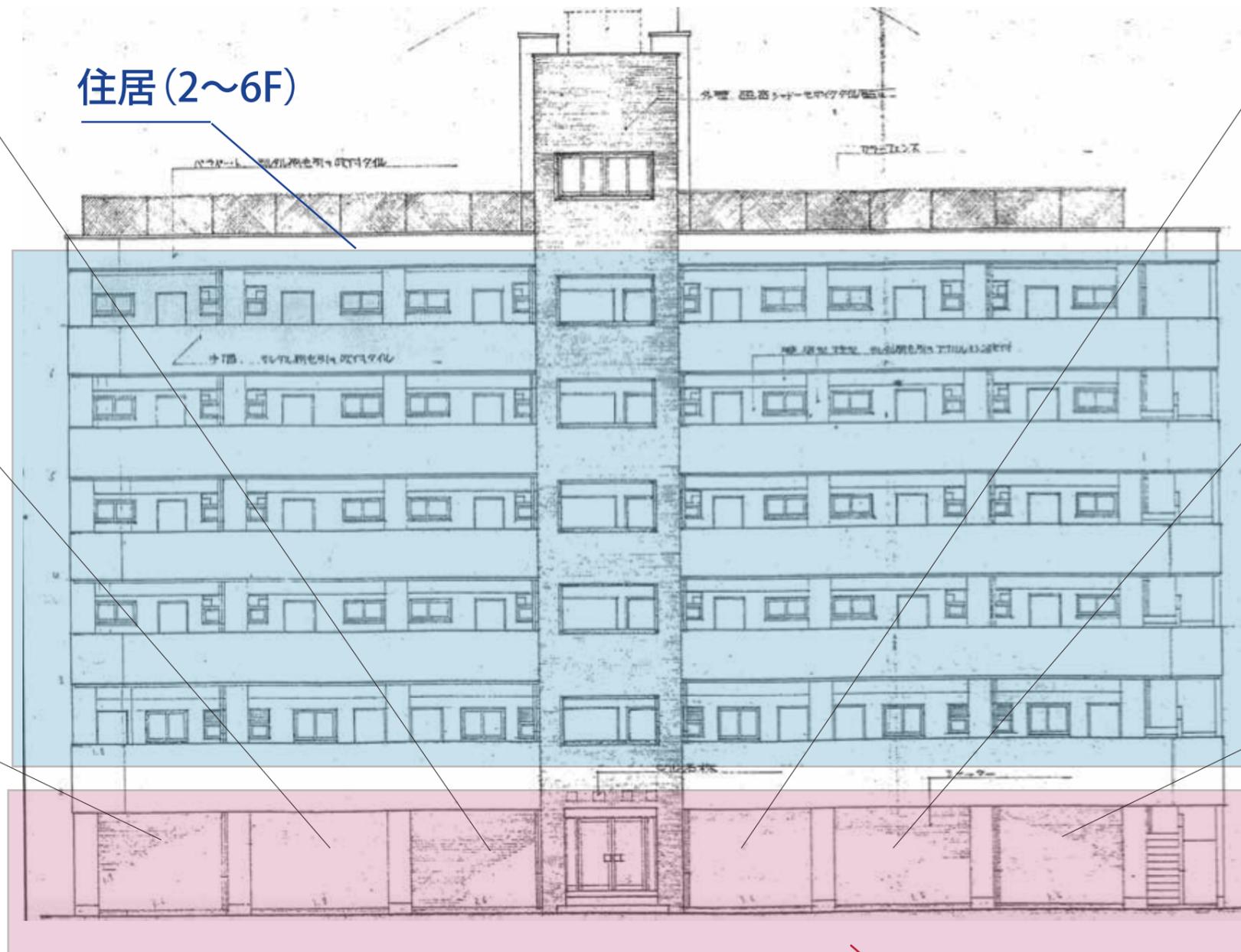


グッズショップ



ドッグカフェ

住居(2～6F)



ペットホテル



動物病院



しつけ教室

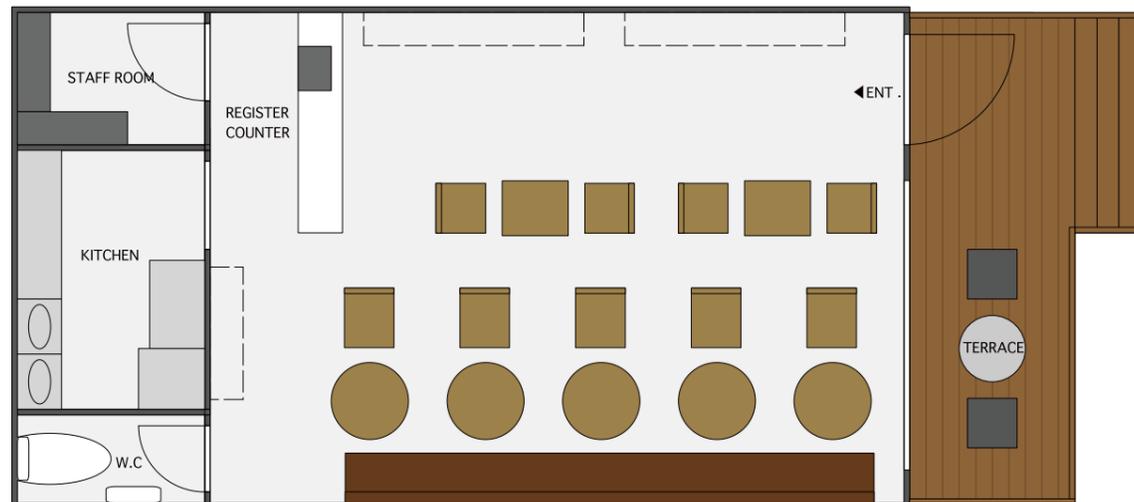
店舗(1F)

# DOG CAFE



一階店舗群の中でも特に「ドッグカフェ」は居住者同士のコミュニケーションが生まれる交流の場として機能する。  
さらに定期的にイベントを開催する等して入居者以外の近隣住民も積極的に巻き込み、ペットという共通項を通して人と人を繋げる地域のコミュニティスペースとしての効果を狙う。

# LAYOUT

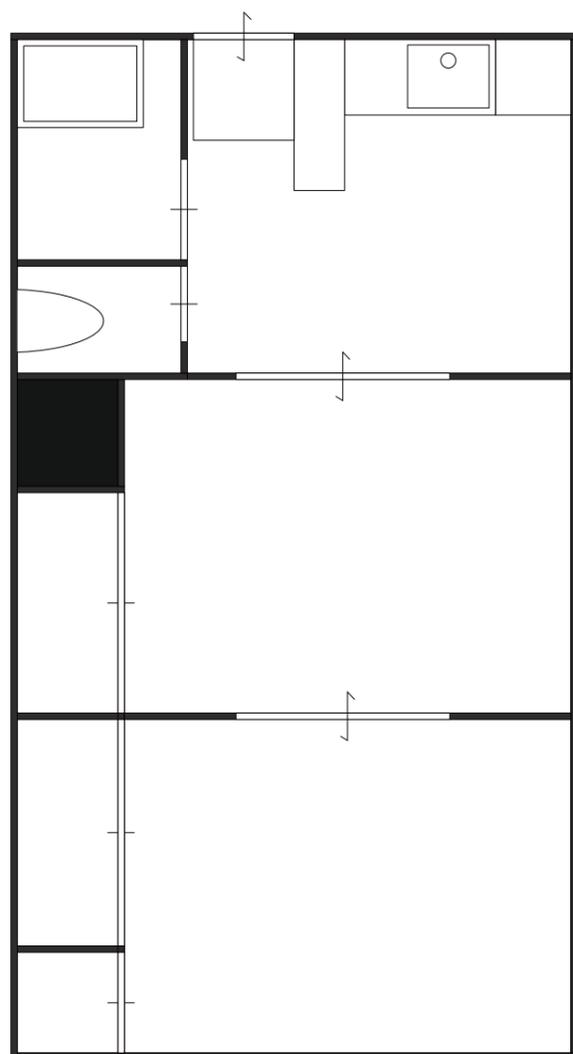


# FACADO



# FLOOR PLAN

- 居住人数は 1~2 人を想定。2DK→1ROOM へ変更。
- 大型犬や複数匹を待機させられるよう、玄関スペースを拡大。
- 廊下に大型収納スペースを設置。
- バスルーム横に脱衣所・洗面室を新設。
- 部屋全体を見渡せるカウンターキッチンを採用。



BEFORE



AFTER

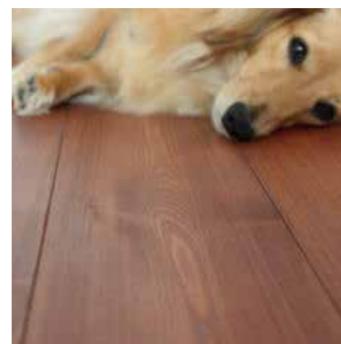


# FLOOR PLAN

ベッドスペースに間仕切りを設け、  
プライバシーを保ちつつ、ガラス張りにする事で  
バルコニーからリビングへの採光も確保。



自由に行き来できる  
犬用ドア付きの建具。



滑りにくい特殊塗料を使った  
ペット用フローリング。  
柔らかい樹脂を使用しており、  
足腰への負担も軽減できる。

